

明治安田生命健保組合「先進的な保健事業の実証等」に関する報告

高血圧および脂質異常症については介入者の2014年度健診結果がほぼ出そろっており、電話介入をした人の効果が明らかになっている。血糖セルフモニタリングと40歳未満メタボについては、次年度健診結果でアウトプット・アウトカムの評価を行う予定

事業名称	高血圧重篤者への電話介入
対象者	高血圧及び糖尿病・脂質異常症などのリスクが重積している〇〇〇人を対象
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 健診およびレセプトデータから高リスクで医療機関未受診者をスクリーニング 健診結果と健康課題のお知らせと啓発冊子を事前送付し重要性を訴求したうえで、保健師等による電話での指導・受診勧奨
評価方法	医療機関受診、健診結果で高リスクからの離脱で評価

結果：受診勧奨利用者のほうが高リスク・高血圧からの離脱率が高い。(健診受診者のみ集計)

電話による保健指導及び受診勧奨	高リスク		高リスクから離脱		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
利用		54.9%		45.1%		100.0%
未利用		63.5%		36.5%		100.0%
総計		57.4%		42.6%		100.0%
電話による保健指導及び受診勧奨	高血圧		高血圧から離脱		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
利用		63.1%		36.9%		100.0%
未利用		66.1%		33.9%		100.0%
総計		64.0%		36.0%		100.0%

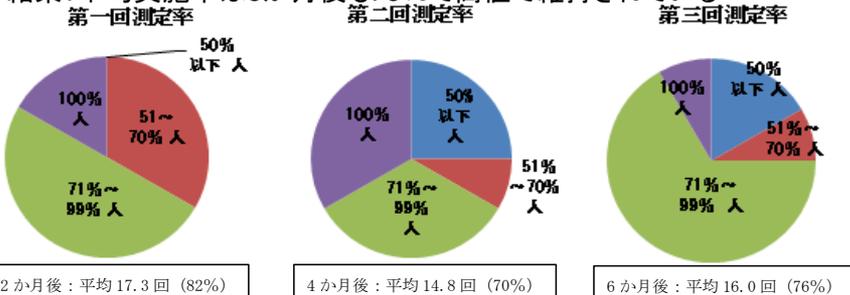
事業名称	脂質異常症重篤者への電話介入
対象者	医療機関に未受診者のうちLDLが180以上(〇〇〇人)または中性脂肪が500以上(〇〇人)
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 健診およびレセプトデータからハイリスクで医療機関未受診者をスクリーニング 健診結果と健康課題のお知らせと啓発冊子を事前送付し重要性を訴求したうえで、保健師等による電話での指導・受診勧奨
評価方法	医療機関受診、健診結果でハイリスクからの離脱で評価

結果：LDL180以上の人の介入後に離脱割合は医療機関受診と有意な関係。保健指導及び受診勧奨の利用者は未利用者よりLDL180以上からの離脱率は3.5ポイント高い。(健診受診者のみ)

電話による保健指導及び受診勧奨	LDL180未満		LDL180以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
利用		50.3%		49.7%		100.0%
未利用		46.8%		53.2%		100.0%
総計		49.6%		50.4%		100.0%
医療機関受診		58.8%		41.2%		100.0%
医療機関未受診		39.6%		60.4%		100.0%
総計		49.6%		50.4%		100.0%

事業名称	血糖セルフモニタリング
対象者	インスリン未使用の2型糖尿病あるいは境界域糖尿病でHbA1cが7.0~12.0%の人
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 健保診療所への通院患者に勧奨し参加への同意を得た〇〇人(〇人は途中辞退)を対象 血糖自己測定についてのセルフモニタリング教育を実施し、2カ月に1回、連続3日間の自己血糖測定
評価方法	臨床指標あるいは自己測定の実施率で評価

結果：平均実施率は6か月後も76%で高値で維持されている



事業名称	40歳未満メタボへの介入
対象者	40歳未満で肥満で血圧・脂質・血糖のいずれかが受診勧奨に該当する〇〇〇人
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 健診から高リスクで当該疾患で服薬をしていない人を選択し、レセプトで重篤疾患での受診者を除外 初回面接のち食事のレシピ本を家族に送付するなどして家族の協力を得たうえでメタボ脱却を図る
評価方法	翌年度健診結果で高リスクからの離脱で評価

結果：2014年12月面接実施分までで保健指導面接参加率は74.8%

